

12年目を迎える東日本大震災。子どもだから感じたことがある。

## 3.11東北ユースダイアログ

～ 東北に住んでいる私たち 震災について話をしよう ～

### ■開催概要

- 日時 2022年12月11日(日)13時-16時
  - 開催方法 岩手/宮城/福島の会場をオンラインでつないでの同時中継開催
  - 参加対象 東北在住の大学生/高校生
- ※会場・参加方法・申込方法は裏面を参照

参加費  
無料



#### 「こども扱いしてほしくなかった」

当時はまだ小さくて、大人は私が何も知らないと思って子ども扱いしていたけど、何が起きているのかわかっていて、大人と同じように傷つき悲しんでいた。きちんと私の気持ちを聞いて、受け止めてほしかった。

#### 「津波が来ていないというだけで、よかったねと言われた」

家にはぎりぎり津波がこなかったけど、水道も電気も止まっていて、家族の分まで支援物資を受け取りに行っていた。家がどこか聞かれ、津波が来ていない場所に住んでいることがわかると、よかったねと言われた。大人は何もわかっていないと思った。

#### 「たくさんのボランティアが遊んでくれて楽しかった」

家が流され、避難所で生活を続けなければいけなくなった。避難所ではたくさんのボランティアが来てくれて遊んでくれて楽しかった。人の命や財産が失われたことを実感するには時間がかかった。

12年目を迎える東日本大震災。

今だから、思い出せること、話せることがあります。

震災当時、小学生だった登壇者は、どんな体験をして、何を感じたのか。

震災からこれまでどのようなことを考えながら

日々を暮らしてきたのか。

私たちは登壇者の話を聴いて、何を学び、

学んだことをどう活かしていけばいいのか。

当時こどもだった登壇者の話を聴き、一緒に考えましょう。

主催：2022 3.11東北ユースダイアログ実行委員会

構成：岩手大学三陸委員会ここより有志/東北学院大学災害ボランティアステーション有志/  
東北大学SCRUM有志/福島大学災害ボランティアセンター有志/  
東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)

協力：岩手大学/福島大学

助成：復興庁コーディネート事業



## ■プログラム

### 1. 開会

### 2. ゲストスピーカーのお話

- ・当時の経験やその後の感じたこと等について、登壇者からお話を聴きます
- ・迫りくる津波から逃げた、内陸で地震にあった、故郷を離れて避難生活を余儀なくされたなどさまざまな経験をされた4人の方からお話をお聴きします

### 3. 対話の時間

- ・各会場でゲストスピーカーも交えて、対話を行います

### 4. 閉会

## ■参加方法とお申し込み方法

### ○参加方法

以下いずれかの会場にお越しください  
オンライン (Zoom) での参加も可能です

### ○申込方法

- ・次のURLにアクセスにお申し込みいただくか、  
右記QRコードからお申し込みください
- ・URL: <https://forms.gle/SgAFhXgxGn5Mie5eA>



## ■会場

### <岩手会場>

- ・会場：岩手大学 上田キャンパス  
教育学部2号館 G201
- ・住所：岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
- ・アクセス：盛岡駅よりバスターミナル11番乗り場  
「岩手大学前」下車（約10分）



### 中央食堂から会場への行き方



### <福島会場>

- ・会場：福島大学 行政政策学類棟 大会議室
- ・住所：福島県福島市金谷川1番地
- ・アクセス：「福島駅」より  
JR東北本線「金谷川駅」下車 徒歩10分

### <宮城会場>

- ・会場：エルソーラ仙台 大研修室
- ・住所：仙台市青葉区中央1-3-1 AER 28階
- ・アクセス：JR仙台駅から徒歩2分

※自家用車で来られる方は、  
農学部側の正門から入り、  
守衛さんに「ユースダイアログに  
参加する」とお伝えください。

## ■お問合せ先

東日本大震災支援全国ネットワーク 事務局  
Mail:office@jpn-civil.net